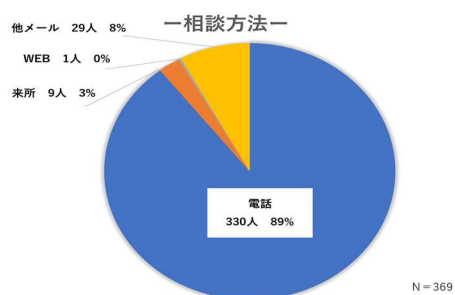
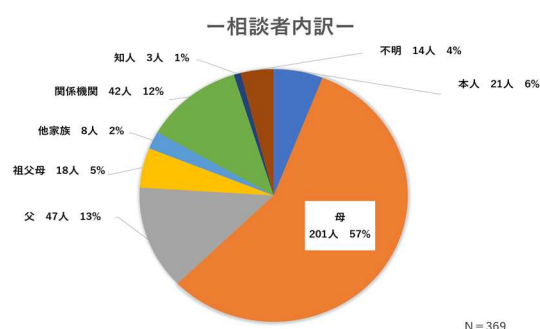
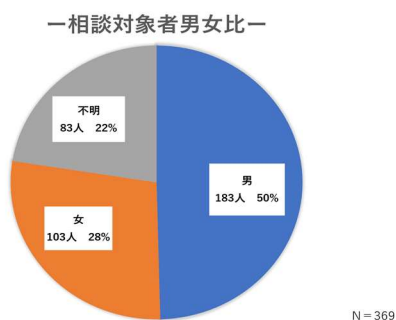
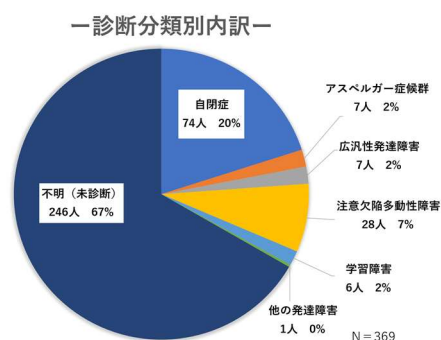
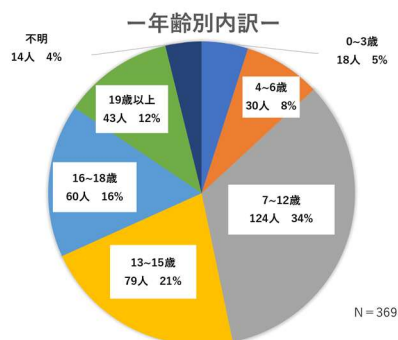


令和5年度東京都発達障害者支援センター（こども TOSCA）活動報告

1. 本人・家族等への相談支援・発達支援・就労支援 …369人（延べ人数）

令和5年度4月～12月相談支援の実施状況



こども TOSCA（年齢対象：18歳未満）の相談において、令和5年4月～12月間の総件数は369件で、内7割近くが未受診・未診断であった。また年齢層で最も多かったのは、7歳～12歳の小学生で全体の34%を占め、相談者は、家族、母親が最も多く全体の約半数を占めていた。

そして相談形態は、事前に予約が必要になる来所やオンラインよりも、電話をかけた“その場ですぐに話を聞いてほしい”といった要望が多かった。

2. 発達障害者地域支援マネージャー活動報告

こども部門においては今年度、主に教育機関、支援困難ケースを対象の中心とし、依頼研修講師の実施、困難事例等に関する相談やケースカンファレンス、コンサルテーションを実施する中で、現状把握のための意見交換および助言等を行った。

その中で、教育機関については、東京都立の高等学校や私立学校と比較的円滑に連携を図ることができたが、区市町村の小・中学校を対象とした活動には至らなかった。

また支援困難なケースへの支援については、対象となる機関および担当者によって、発達障害への理解や提供する支援の捉え方等に差異があり難航することが多かった。

上記、2点については、今後の引き続きの課題であり、アプローチの仕方を工夫する等再検討し、取り組んでいく。

